



歯科技工士さんってどんな人？

No.74

歯科医院に携わる仕事にはいろいろありますが、今回は歯科技工士について紹介します。

歯科技工士は歯科医師の指示に従い、歯冠修復物、義歯、矯正装置等の製作や修理に携わり、歯科医療の一端を担っています。近代歯科医療においては欠かせない存在の医療技術者です。

歯科技工士の仕事

人間にとって食べ物をおいしく食べることは、生きる上での欲求であるとともに、本能とも言えます。不幸にして歯が欠けたり、歯を失った時においしく食べる欲求を満たす“人工臓器”としての歯を作っているのが歯科技工士です。少しでも歯に食べ物が引っかかると、違和感が残り大変不愉快なものです。そのように敏感な口の中に、入れ歯や冠(クラウン)を天然歯と同じように作るのですから、歯科技工には繊細な技術や学問的裏付けが要求されます。



現代の歯科医療では、歯が無くなることで噛む能力が低下すると、全身の健康が阻害されると言われています。それを防ぐためにも歯並びや噛み合わせのバランスを考えることが重要であり、歯科技工士には冷静な判断力と技術力が求められます。



また、歯並びや歯の形、色などに対する審美的な要求も多く、その要求に応えるための新素材の研究・開発が日々進められているので、学術的・技術的な研鑽に励み常に自己を高めようとする姿勢も大切です。

以前掲載したCAD/CAMのように機械が歯を作る技術も開発されていますが、まだまだ歯科技工士さんによるハンドメイドに頼るところが大きいです。「縁の下の力持ち」歯科治療を陰で支える歯科技工士さんはなくてはならない存在です。



一般社団法人

柏歯科医師会

<http://kashiwa.cda.or.jp/>

Email : kda@kamukamu.or.jp

